

令和8年2月2日 渡部資料

### アクションプランの評価について

#### ■評価の方法（資料3）

○ 園と県本庁が、アクションプランの4つの柱ごとに、評価として、

- ①「達成度を表す指標」を設定し、年度末までの進捗把握
- ②「具体的な取組状況や成果」として、アクションプランの核となる取組について、実施回数等の取組状況(アウトプット)に加え、利用者の暮らしが豊かになったのかなどの成果(アウトカム)を整理
- ③できていること、できていないことを振り返り、「課題」、「今後の方向性」を取りまとめる。

#### ■②「具体的な取組状況と成果」とは

⇒必要に応じて定性的を加えながら、可能な限り定量的な確かめを行う。

○アウトプット

- ・実施回数等の取組状況

○アウトカム

- ・利用者の暮らしが豊かになったのかなどの成果

#### ■アクションプランの柱と取組内容とアウトプット、アウトカムのデータ、及びデータ収集

##### I 人生に共感し、チームで支援する

○利用者一人ひとりに、これからどのように暮らしたいかを聞いて、その実現に向けた支援を約束し、チームで支援する。また、利用者一人ひとりの人生を支援するためのガバナンスを強化する

●どのように暮らしたいか聞いて、その実現に向けた支援を約束し、チームで支援する

☆アウトプット

- ・どのように暮らしたいか聞き取りを行なった実績
- ・チームで支援した実績

☆アウトカム

- ・聞き取った暮らしの実現の状況

●利用者一人ひとりの人生を支援するためのガバナンスを強化する

⇒ガバナンスを強化する（定義が必要）

☆アウトプット

- ・「ガバナンスを強化」した実績

☆アウトカム

- ・「強化されたガバナンス」の効果や成果
- ・一人ひとりの人生への支援実績

## II 暮らしをつくる

○施設は、人が暮らす場であるということを意識し、園内での暮らしを再構築する。また、地域での暮らしをイメージした園内の日中活動の充実を図る。

### ●園内での暮らしを再構築する

⇒「再構築」の定義が必要

#### ☆アウトプット

- ・再構築のために試みられた取組の内容や数（経年変化）

#### ☆アウトカム

- ・人が暮らす場となったか（利用者、家族、支援者、見学者の評価）

### ●園内の日中活動の充実を図る

#### ☆アウトプット

- ・園内での日中活動の数、活動内容、日中活動に参加した利用者数と回数、それぞれの経年変化

#### ☆アウトカム

- ・地域での暮らしをイメージできたか（本人、家族、支援者の評価）

○施設が地域に溶け込んで、全ての利用者が日常的に地域に出て、仲間たちとのつながりや役割を実感できるよう、園外での日中活動の充実を図る。また、利用者が地域生活をイメージできるよう、様々な体験の場をつくる

### ●園外での日中活動の充実を図る

#### ☆アウトプット

- ・園外での日中活動の数、活動内容、日中活動に参加した利用者数と回数、それぞれの経年変化（達成基準：全ての利用者か、日常的か）

#### ☆アウトカム

- ・仲間とのつながりや役割を実感できたか（本人、家族、支援者の評価）

### ●様々な体験の場をつくる

#### ☆アウトプット

- ・体験の場の数と体験の場に参加した利用者数と回数

#### ☆アウトカム

- ・利用者の地域生活のイメージが持てたか（本人、家族、支援者）

○施設を居心地の良い環境に改善する。

### ●居心地の良い環境に改善する

#### ☆アウトプット

- ・「居心地」の良い環境づくりのために実施された改善数と内容

#### ☆アウトカム

・居心地の良さを実感できたか、居心地の良い環境がもたらされたか（利用者、家族、支援者の評価）

○地域での活動を具体的に実現するための事業計画・行事計画を利用者と一緒に作成する

●事業計画・行事計画を利用者と一緒に作成する

☆アウトプット

・利用者と一緒に作成した事業計画・行事計画数

☆アウトカム

・実現された地域での活動の内容や数、利用状況（実績）と満足度（本人、家族、支援者の評価）

### Ⅲ いのちを守る施設運営

○利用者一人ひとりのいのちを守るという強い意識をもって、利用者の生活を考え、支援する。また、園の医療提供体制を見直すとともに、知的障がい者に必要な医療の在り方を検討する

●利用者の生活を考え、支援する

⇒「利用者の生活を考え、支援する」とは

☆アウトプット

・利用者の生活を考えたカンファレンスの実績と支援実績

☆アウトカム

・職員のいのちを守る強い意識の変化、いのちを守るための取組とその効果

●園の医療提供体制を見直す

☆アウトプット

・見直された園の医療提供体制の姿、従前との差異

☆アウトカム

・医療提供体制における利用者のいのちを守る取組の実績と成果

○虐待が疑われる事案や事故が発生した場合の対応を徹底する

●徹底する

⇒「徹底する」とは（定義）

☆アウトプット

・事案や事故が発生したときの対応実績（通報率、通報までの速さなど）

☆アウトカム

・「徹底」したことによりもたらされた成果や変化

### Ⅳ 施設運営を支える仕組みの改善

○利用者支援の質を評価する仕組みを構築する

●仕組みを構築する

☆アウトプット

・仕組みを構築できたか、従前との差異

・支援の質の評価結果とその変化（向上しているか）

☆アウトカム

・利用者の生活の質（ライフスタイル）への影響

○職員の不安、悩み、ストレスを解消するための仕組みを構築する

●仕組みを構築する

☆アウトプット

・仕組みを構築できたか、従前との差異

・職員の不安、悩み、ストレスの変化（解消や軽減がもたらされたか）

☆アウトカム

・職員にとって相談しやすい、支援を受けやすい、働きやすい、働きがいのある職場になったか（職員の評価）

○利用者の望みを第一に考え、その暮らしや人生に寄り添う、当事者目線の支援を実践する人材を育成する

●人材を育成する

☆アウトプット

・利用者の望みやその人の暮らしや人生を優先的に考えることができる職員の数と割合（職員のアンケート）

☆アウトカム

・利用者の変化（利用者の望みが実現されたか、その人の暮らしや生き方に変化が生じたか）

○利用者の暮らしに合わせた人員配置体制や、利用者が暮らしやすい施設規模に見直す

●人員体制や施設規模を見直す

☆アウトプット

・人員配置体制や施設規模の変化、従前との差異

☆アウトカム

・利用者の暮らしぶり（ライフスタイル）や、暮らしやすさ（安全安心）が実現できたか（利用者、家族、支援者の捉え）